

授業科目 精神保健福祉援助技術各論

【担当教員名】 酒井 昭平	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	4	時間数	60

<概要>

精神保健福祉の目標は、精神保健と福祉社会の実現にある。

当科目では、精神に障害のある人々と家族の心理社会的な生活問題に確かな倫理・価値と専門的な知識に裏付けられた技術、技法、技法を習得する。また、精神に障害のある人々の支援のみならず、新たな精神保健福祉領域における社会的な課題にも着目した内容にもふれる。

<学習目標>

以下の展開過程と実際における技法（アプローチ）、技能（スキル）の習得と説明できることを目標とする。

1. 精神障害者とその家族を対象とした個別援助技術、集団援助技術および地域援助技術
2. ケアマネジメント（障害者自立支援法、ACT、ストレングスモデル）
3. チームアプローチと連携 ―コンサルテーション、チームアプローチ、ネットワーク―
4. 障害福祉計画の作成方法と進行管理 ―基本指針、作成過程、計画の進行管理と評価―
5. 精神保健福祉士の共通技術 ―共通技術、契約・介入、面接、記録、スーパービジョン、評価―

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション／個別援助技術①		オリエンテーション／講義
2	個別援助技術②		講義
3	集団援助技術①		講義
4	集団援助技術②		講義
5	地域援助技術①		講義
6	地域援助技術②		講義
7	ケアマネジメント①		講義
8	ケアマネジメント②		講義
9	チームアプローチと連携①		講義
10	チームアプローチと連携②		講義
11	障害福祉計画の作成方法と進行管理①		講義
12	障害福祉計画の作成方法と進行管理②		講義
13	精神保健福祉士の共通技術①		講義
14	精神保健福祉士の共通技術②		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	精神保健福祉援助技術各論改訂 6	日本精神保健福祉士養成校協会編	中央法規	2007年1月 2500円
参考書	精神保健福祉援助技術総論改訂 5	日本精神保健福祉士養成校協会編	中央法規	2007年1月 2500円
その他の資料	適宜配布			
【評価方法】 出席状況、レポート、期末試験		【履修上の留意点】 講義のほかに演習、ビデオ学習（討論・レポート）あり		